

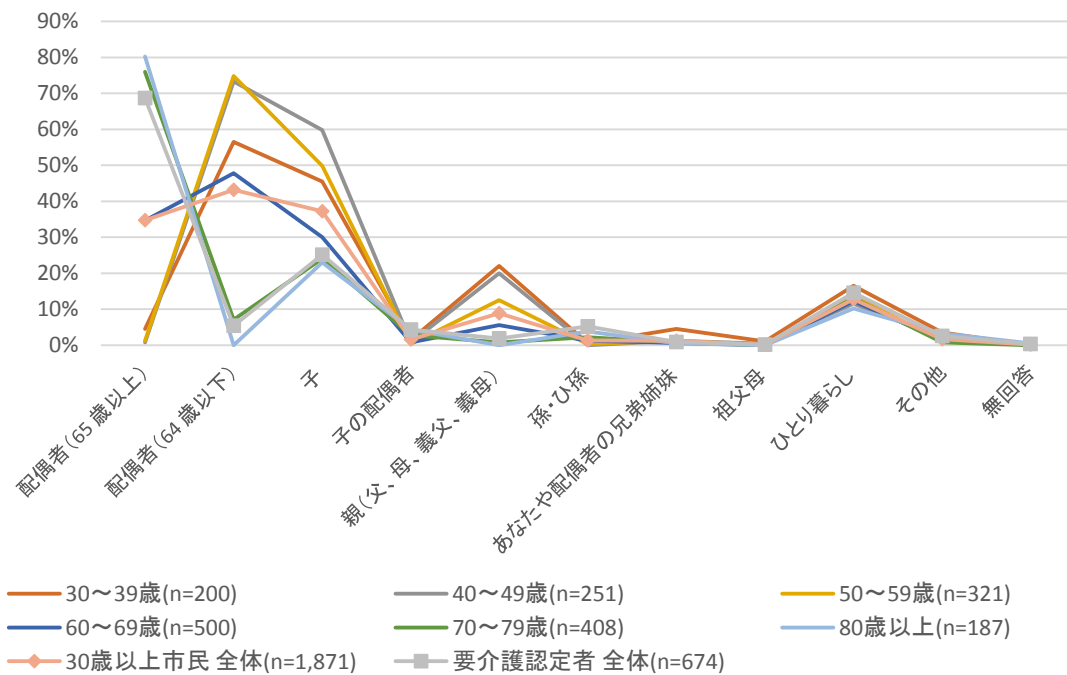
市民アンケート調査_その2

■問 6 「同居している家族」 × 年齢別 (10 歳階級) × 性別

問 1 で 「男性」と回答した方

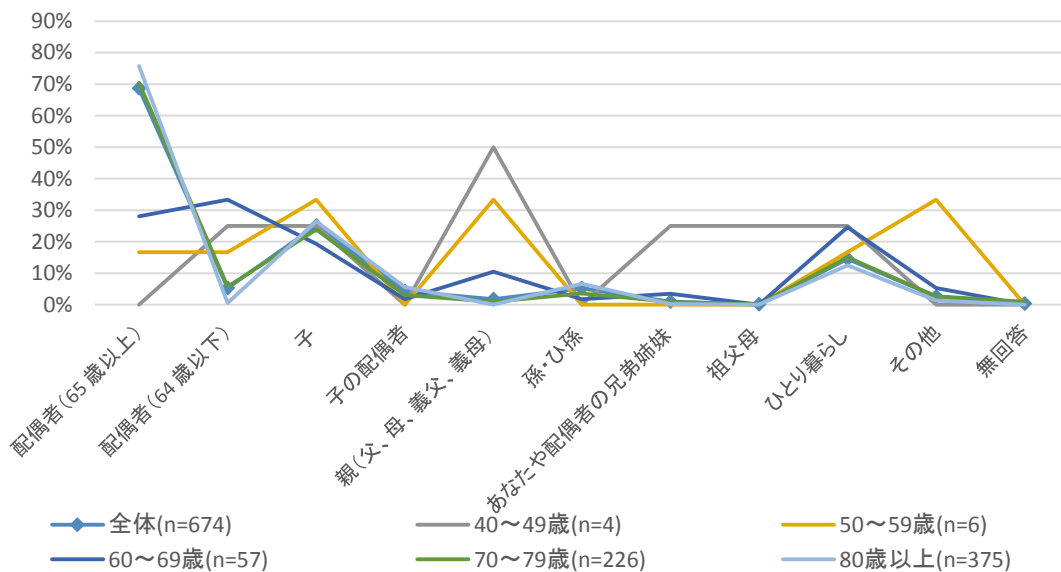
●30 歳以上市民

- ・全体の傾向として、「配偶者 (65 歳以上)」「配偶者 (64 歳以下)」「子」の割合が高くなっている。
- ・加齢と共に「配偶者 (65 歳以上)」の割合が高くなり、「配偶者 (64 歳以下)」「子」「親 (父、母、義父、義母)」が低くなる。



●要介護認定者

- ・70 歳以上において「配偶者 (65 歳以上)」の割合が 70% 台と高く、次いで「子」が 25% 台となっている。



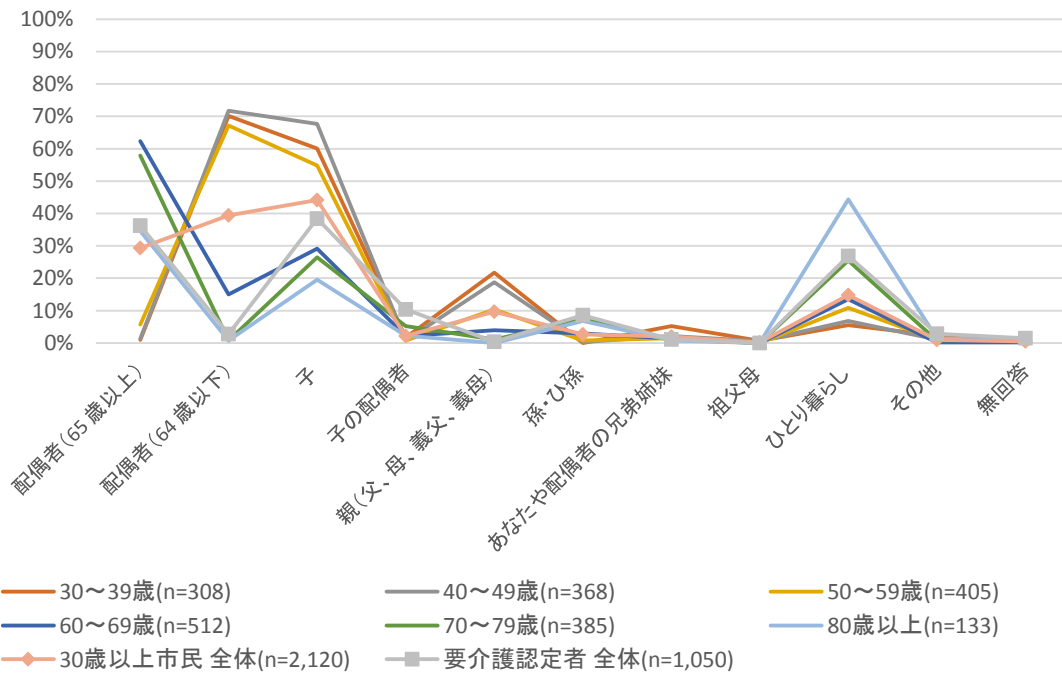
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・全体同士を比較すると、配偶者 (65 歳以上) は、要介護認定者が 30 歳以上市民を 30 ポイント以上上回る。

問1で「女性」と回答した方

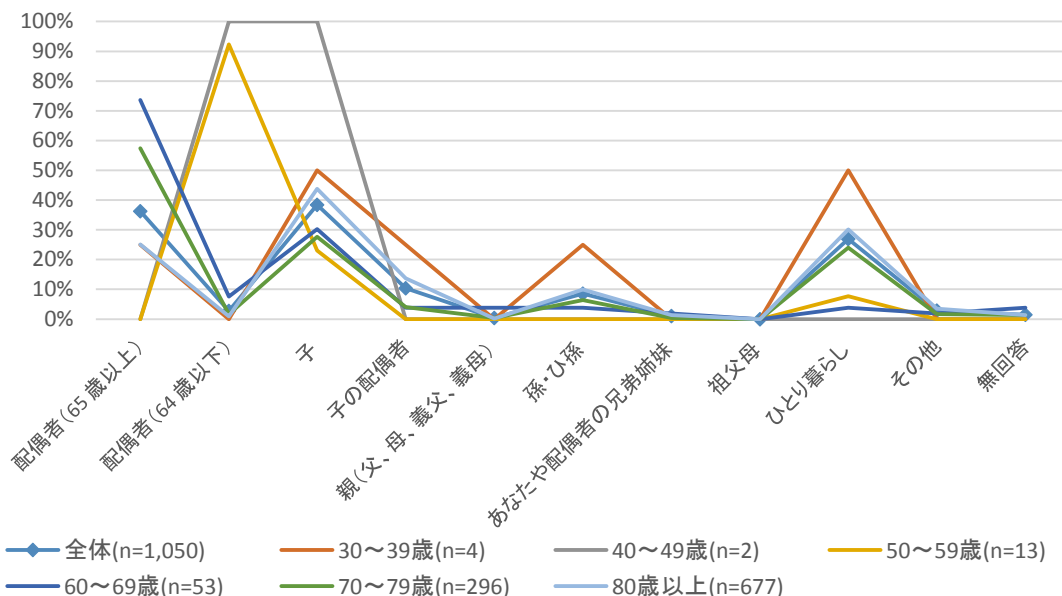
●30歳以上市民

- ・全体の傾向として、「配偶者（65歳以上）」「配偶者（64歳以下）」「子」の割合が高くなっている。
- ・加齢と共に「配偶者（65歳以上）」の割合が高くなり、「配偶者（64歳以下）」「子」「親（父、母、義父、義母）」が低くなる。



●要介護認定者

- ・全体の傾向として、「配偶者（65歳以上）」「子」の割合が高くなっている。
- ・加齢と共に「配偶者（65歳以上）」「配偶者（64歳以下）」の割合が低くなっている。



●男性・女性の比較

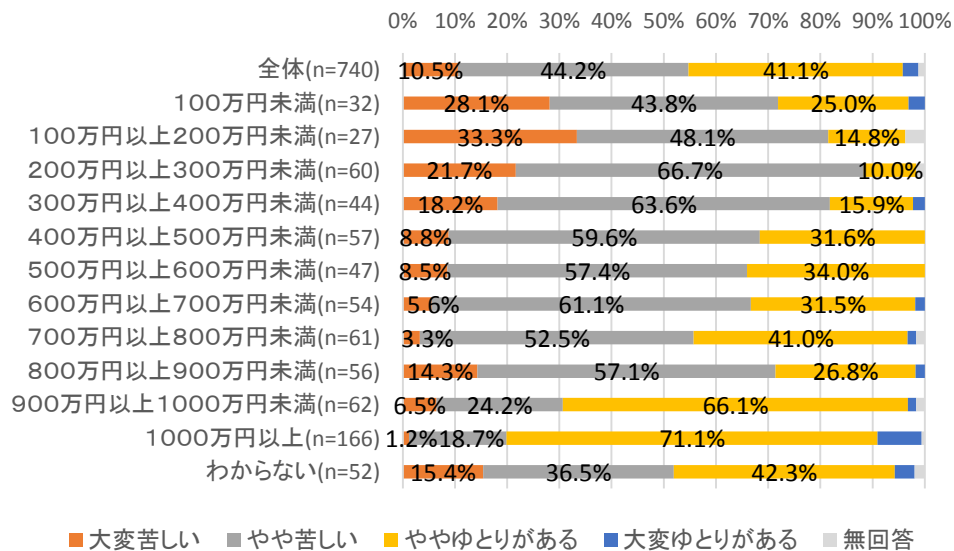
- ・30歳以上の市民と要介護認定者のどちらも、男性は加齢と共に「配偶者（65歳以上）」が高くなり、女性は低くなっている。

■問7「世帯年収」×問8「経済的状况」×年齢別（10歳階級）

問2で「50~59歳」と回答した方

●30歳以上市民

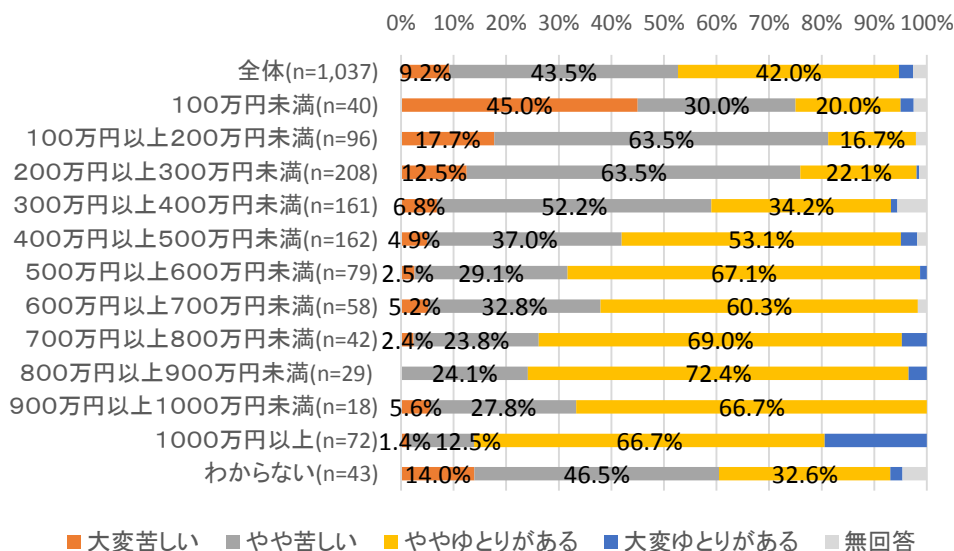
- ・世帯収入について全体の22.4%を占め最も高い「1000万円以上」と回答した方は、71.1%が「ややゆとりがある」と回答している。また「900万円以上1000万円未満」と回答した方（8.4%）も、66.1%が「ややゆとりがある」と回答している。
- ・それ以外の世帯年収区分においては「やや苦しい」が最も高くなっている。



問2で「60~69歳」と回答した方

●30歳以上市民

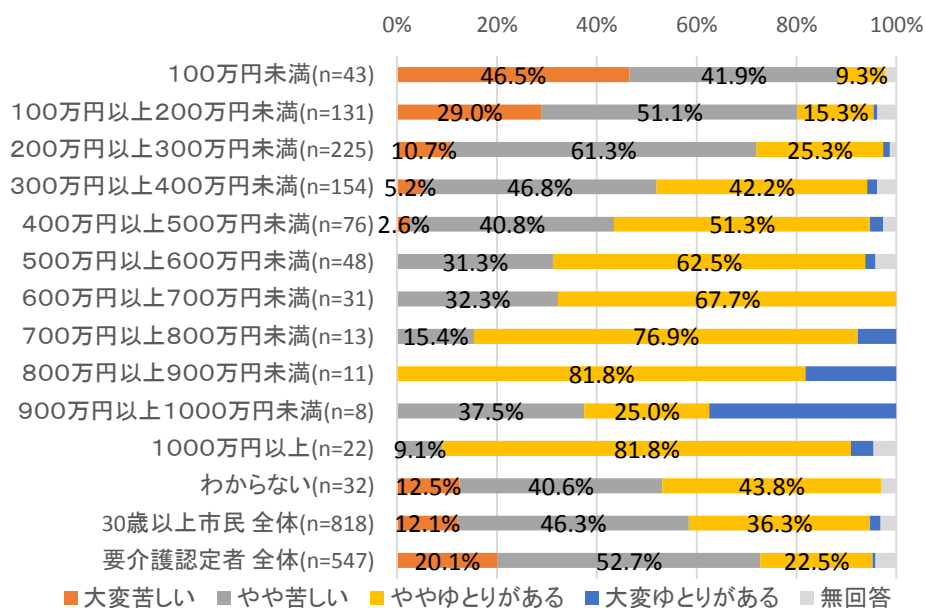
- ・世帯収入について全体の20.1%を占め最も高い「200万円以上300万円未満」と回答した方は、63.5%が「やや苦しい」と回答している。同じく「300万円以上400万円未満」と回答した方（15.5%）も、52.2%が「やや苦しい」と回答している。
- ・一方「400万円以上500万円未満」と回答した方（15.6%）は、53.1%が「ややゆとりがある」と回答しており、「500万円以上」と回答した方は「ややゆとりがある」との回答が各所得区分とも6割を超えている。



問2で「70~79歳」と回答した方

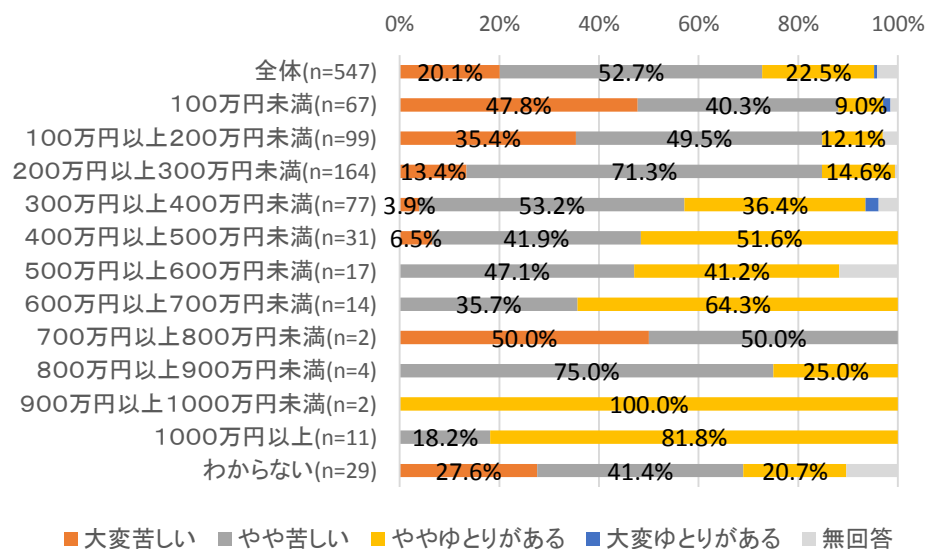
●30歳以上市民

- ・世帯収入について全体の27.8%を占め最も高い「200万円以上300万円未満」と回答した方は、61.3%が「やや苦しい」と回答している。同じく「300万円以上400万円未満」と回答した方（18.8%）も、46.8%が「やや苦しい」と回答している。



●要介護認定者

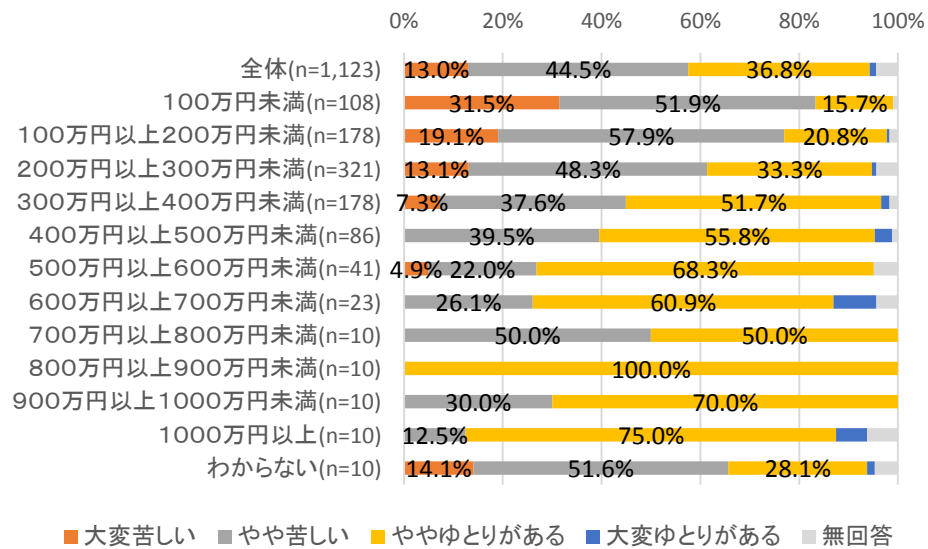
- ・世帯収入について全体の30.0%を占め最も高い「200万円以上300万円未満」と回答した方は、71.3%が「やや苦しい」と回答している。同じく「100万円以上200万円未満」と回答した方（18.1%）も、49.5%が「やや苦しい」と回答している。



問2で「80歳以上」と回答した方

●要介護認定者

- ・世帯収入について全体の28.6%を占め最も高い「200万円以上300万円未満」と回答した方は、48.3%が「やや苦しい」と回答している。同じく「100万円以上200万円未満」と回答した方（15.9%）も、57.9%が「やや苦しい」と回答している。
- ・一方、「300万円以上400万円未満」と回答した方（15.9%）も、51.7%が「ややゆとりがある」と回答している。

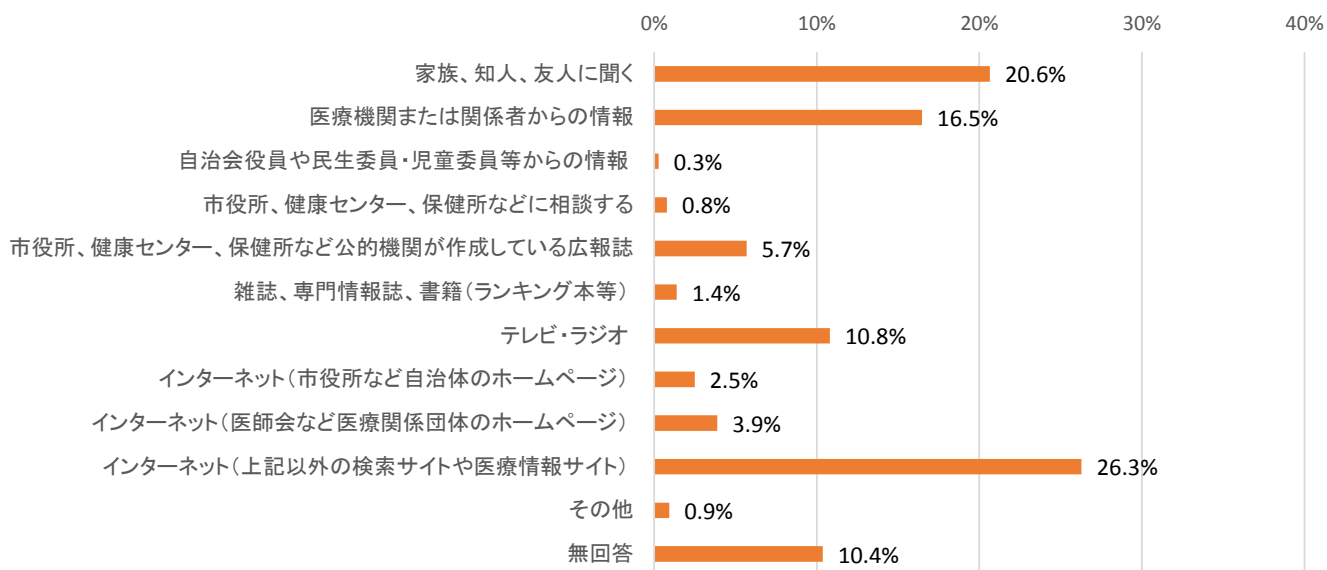


■問 30~35 医療情報についての問い

問 30 病気や医療に関する情報の入手先 (SA)

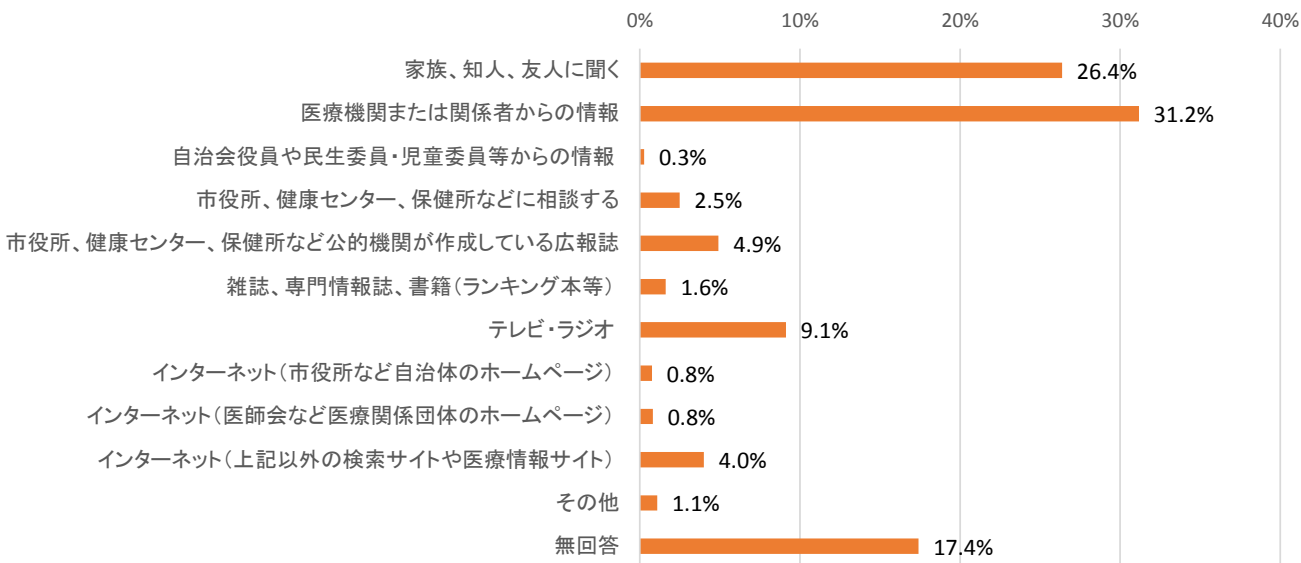
●30 歳以上市民

・「インターネット（自治体や医療関係団体以外の検索サイトや医療情報サイト）」の割合が最も高く、次いで「家族、友人、知人に聞く」「医療機関または関係者からの情報」「テレビ・ラジオ」が高くなっている。



●要介護認定者

・「医療機関または関係者からの情報」の割合が最も高く、次いで「家族、友人、知人に聞く」が高くなっている。



●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

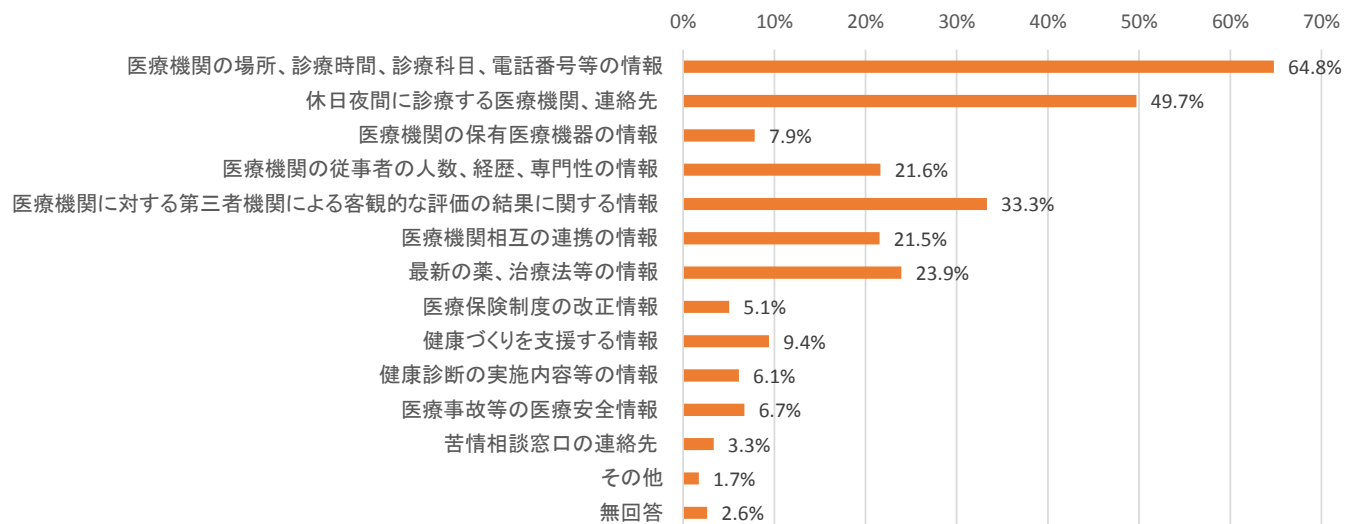
・両者共に「家族、知人、友人に聞く」の割合が 20%代で近い割合になっているが、「インターネット（自治体や医療関係団体以外以外の検索サイトや医療情報サイト）」の割合は 30 歳以上市民が要介護認定者と比較し 22.3 ポイント、「医療機関または関係者からの情報」の割合は要介護認定者が 30 歳以上市民と比較し 14.7 ポイント高くなっている。

問 31 病気・医療に関して必要だと思う情報（MA）

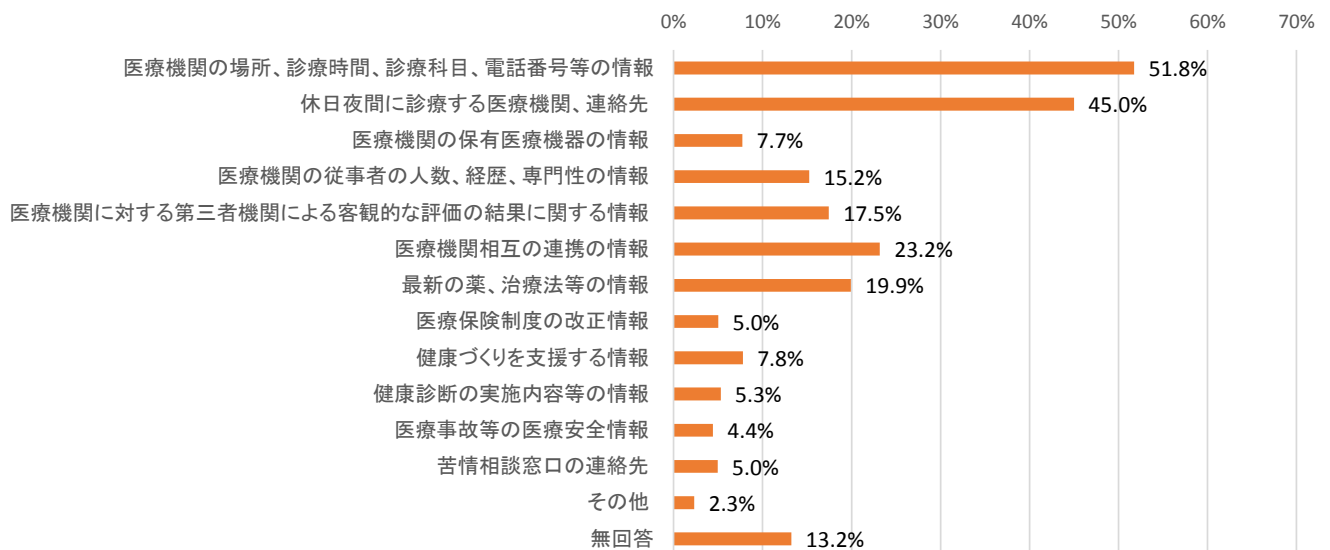
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者共に「医療機関の場所、診療時間、診療科目、電話番号などの情報」「休日夜間に診療する医療機関、連絡先」の割合が高く、次いで「医療機関の従事者の人数、経歴、専門性の情報」「医療機関に対する第三者機関による客観的な評価の結果に関する情報」「医療機関相互の連携の情報」「最新の薬、治療法等の情報」が高くなっている。

< 30 歳以上市民 >



< 要介護認定者 >

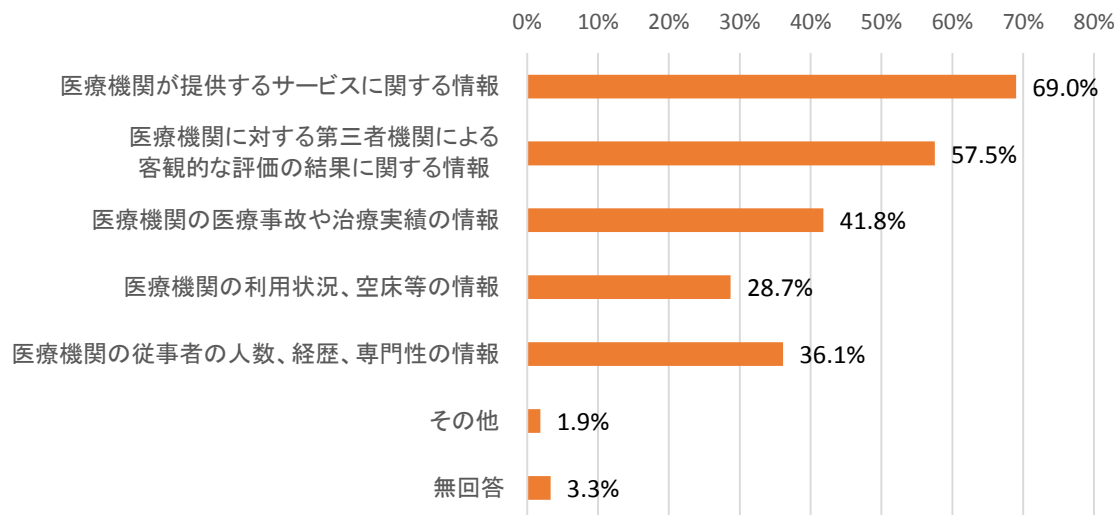


問 32 医療サービス選択時にあると良いと思う情報 (MA)

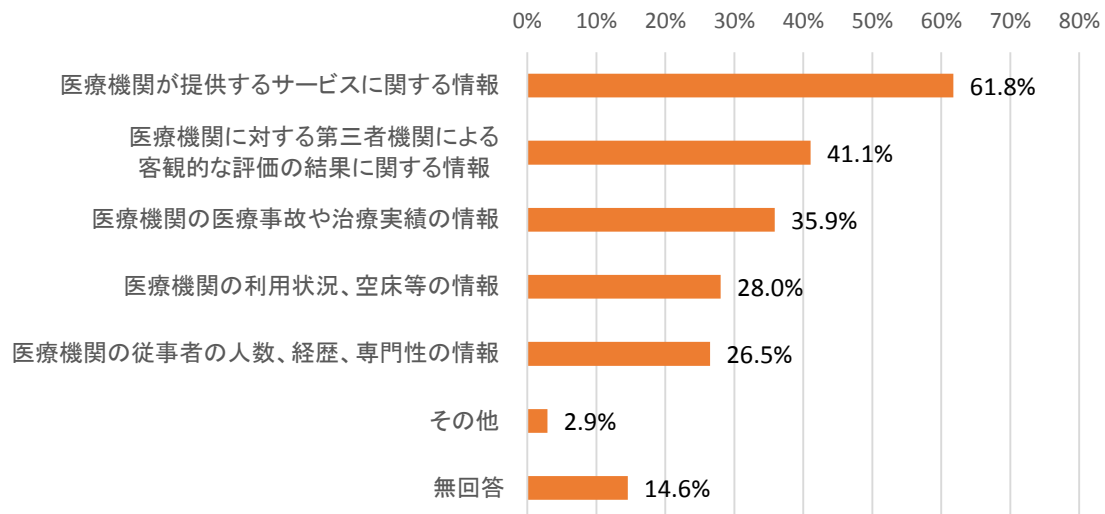
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者共に「医療機関が提供するサービスに関する情報」の割合が高く、次いで「医療機関に対する第三者機関による客観的な評価の結果に関する情報」「医療機関の医療事故や治療実績の情報」「医療機関の従事者の人数、経歴、専門性の情報」「医療機関の利用状況、空床等の情報」が高くなっている。
- ・「医療機関に対する第三者機関による客観的な評価の結果に関する情報」の割合は、30 歳以上市民が要介護認定者と比較し 16.4 ポイント高くなっている。

< 30 歳以上市民 >



< 要介護認定者 >

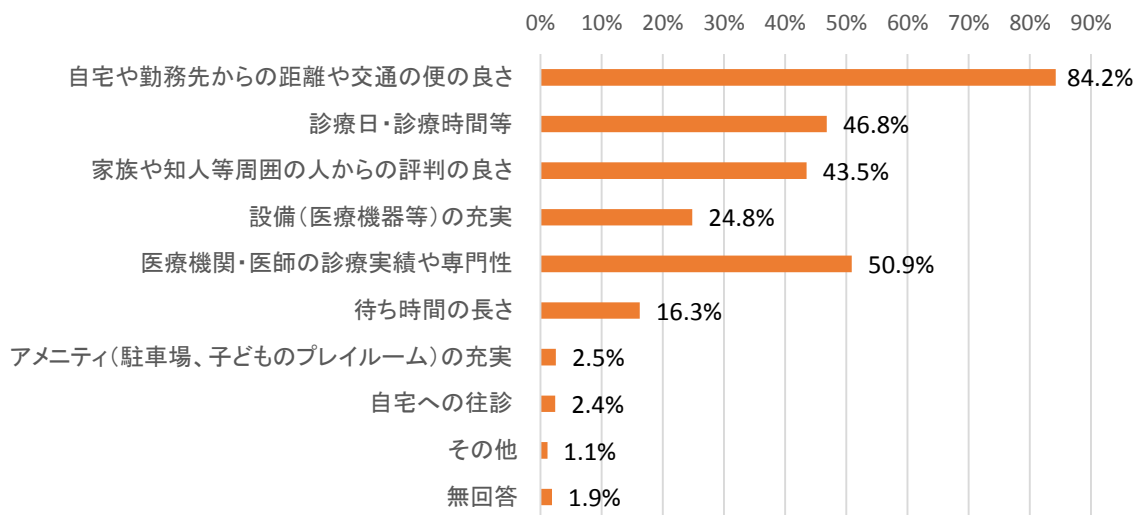


問 33 医療機関選択時、診療科以外に重視する点 (SA)

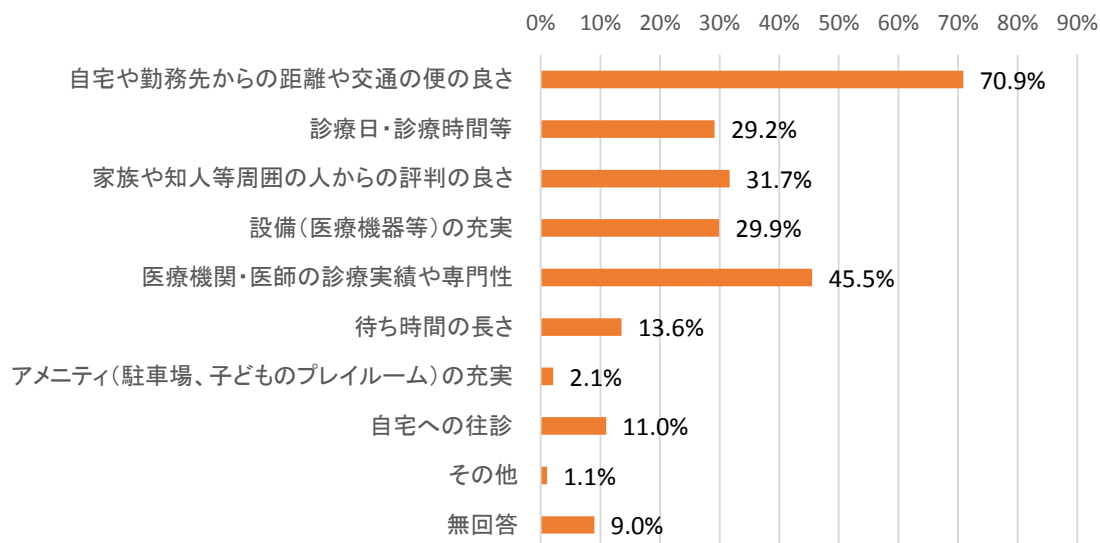
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

- ・両者共に「自宅や勤務先からの距離や交通の便の良さ」の割合が高く、次いで「診療日・診療時間等」「家族や知人等周囲の人からの評判の良さ」「設備（医療機器等）の充実」「医療機関・医師の診療実績や専門性」が高くなっている。
- ・「診療日・診療時間等」の割合は、30 歳以上市民が要介護認定者と比較し 17.6 ポイント高くなっている。

<30 歳以上市民>



<要介護認定者>

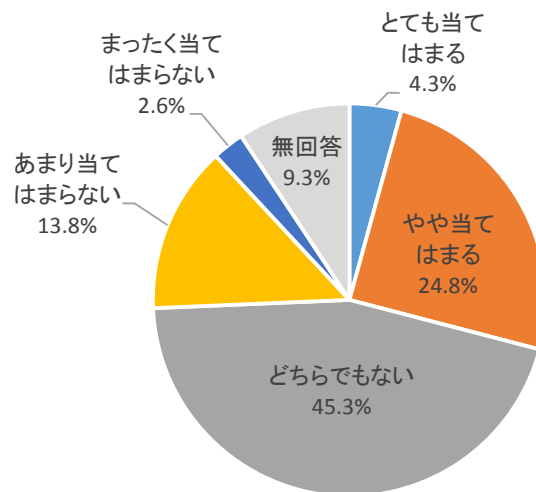


問 34 (1) 救急医療の充実 (SA)

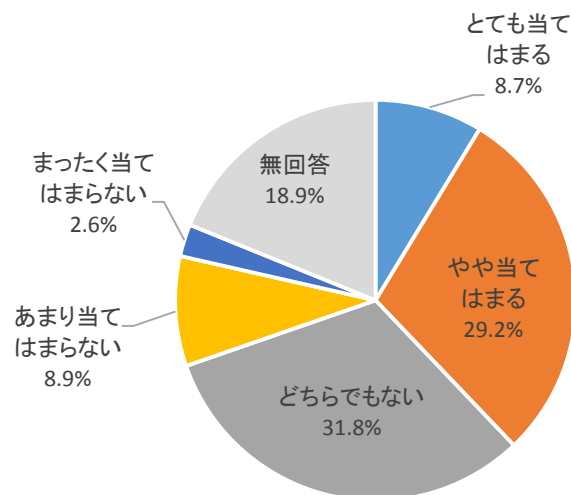
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

・両者共に「どちらでもない」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」の順で高めになっている。

<30 歳以上市民>



<要介護認定者>

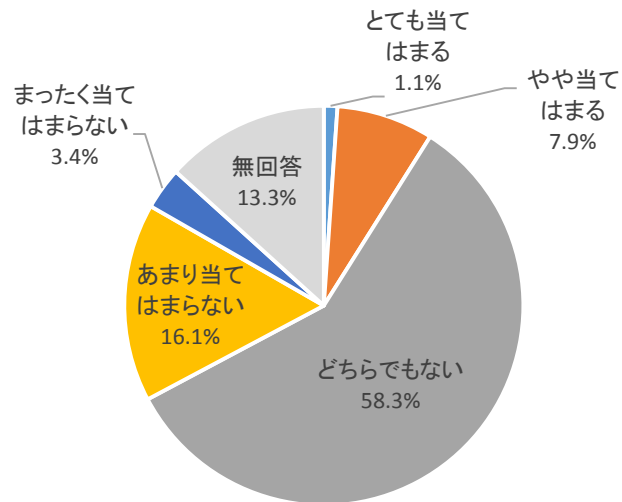


問 34 (2) 在宅医療の充実 (SA)

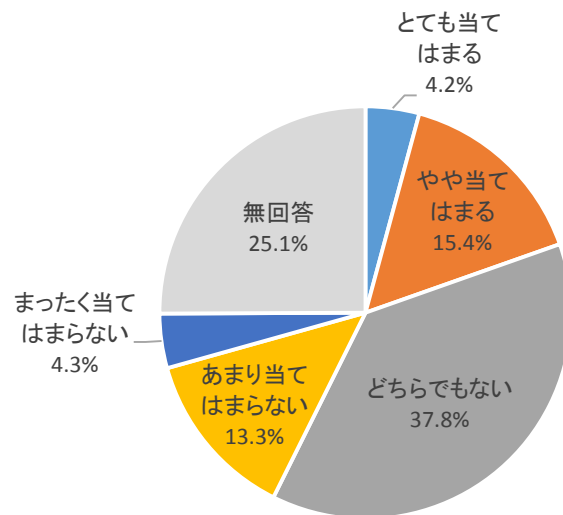
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

・両者共に「どちらでもない」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」の順で高めになっている。

<30 歳以上市民>



<要介護認定者>

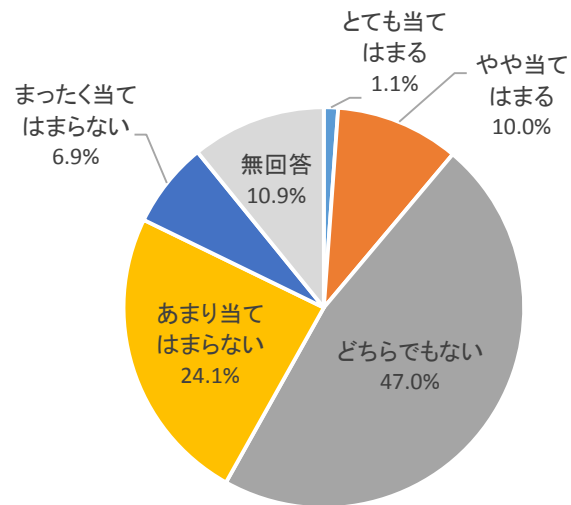


問 34 (3) 情報が十分提供されている (SA)

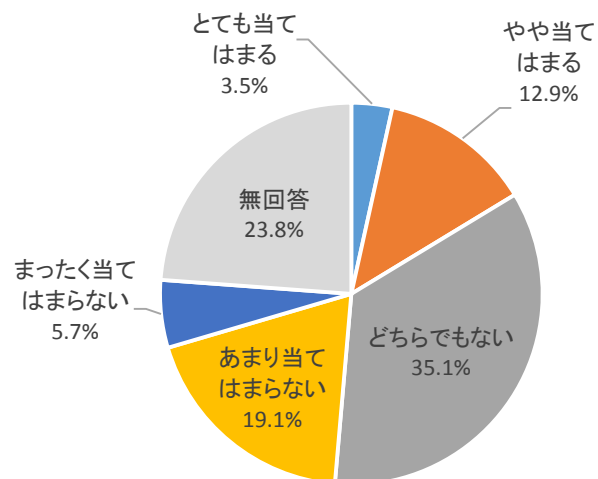
●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

・共に「どちらでもない」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」の順で高めになっている。

<30 歳以上市民>



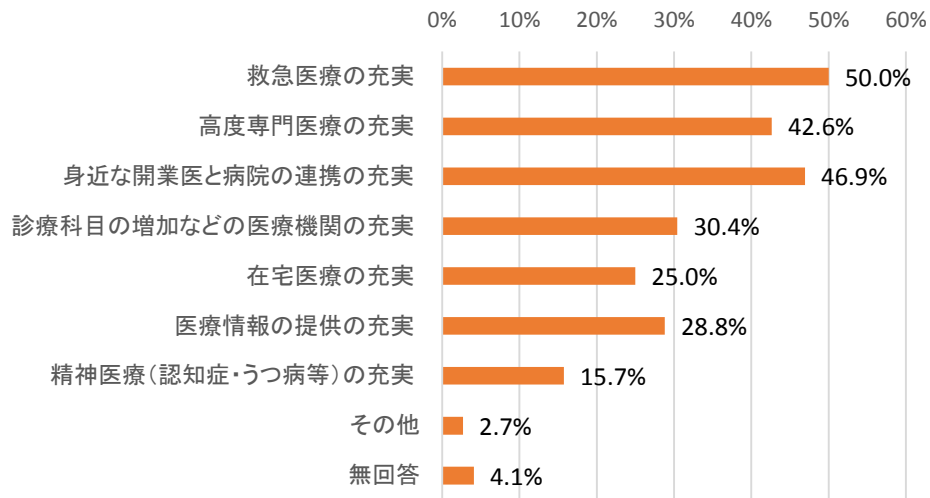
<要介護認定者>



問 35 多摩市内における医療提供体制で充実してほしいもの (MA)

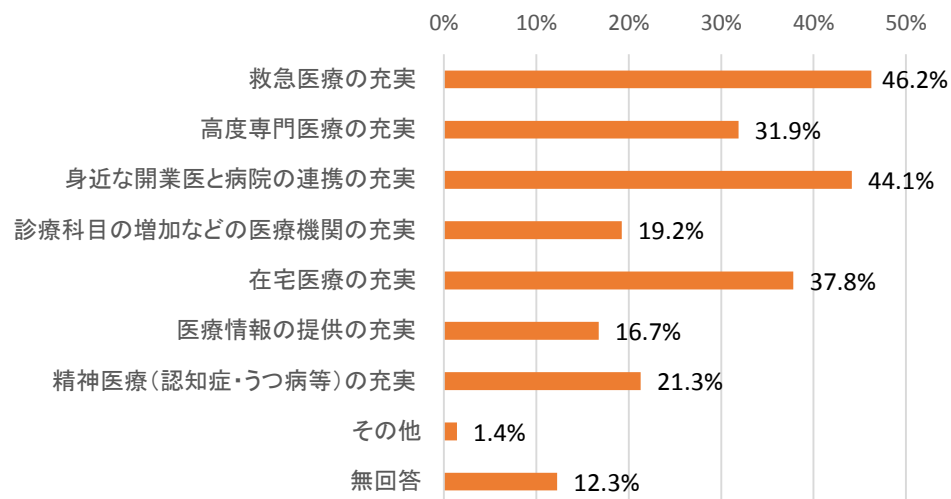
●30 歳以上市民

・「救急医療の充実」「高度専門医療の充実」「身近な開業医と病院の連携の充実」の割合が高くなっている。



●要介護認定者

・「救急医療の充実」「高度専門医療の充実」「身近な開業医と病院の連携の充実」「在宅医療の充実」の割合が高くなっている。



●30 歳以上市民と要介護認定者の比較

・「診療科目の増加などの医療機関の充実」の割合は、30 歳以上市民が要介護認定者より 10.6 ポイント高くなっており、「在宅医療の充実」の割合は、要介護認定者が 30 歳以上市民より 12.8 ポイント高くなっている。